

日本原子力学会核燃料部会
第24回核燃料部会総会議事録

日時 :平成17年3月30日(水) 12:30~12:55
場所 :東海大学湘南キャンパス 16号館C会場(203)
出席者 :約30名

1. 活動報告

大澤庶務幹事により、平成16年度の活動報告がされた。

1.1 総会

平成17年3月30日(水) 於、東海大学湘南キャンパス

1.2 運営委員会

- ・平成16年 5月19日(水)(平成16年度 第1回)
- ・平成16年 7月15日(木)(平成16年度 第2回)
- ・平成16年 9月16日(木)(平成16年度 第3回)
- ・平成17年12月10日(金)(平成16年度 第4回)
- ・平成17年 3月30日(水)(平成16年度 第5回)

1.3 部会企画セッションプログラム

秋の大会時(京都大学 平成16年9月16日 13:00~14:00)

- ・『ATR燃料の開発と実績(Development and Experience of ATR Type Fuel)』
核燃料サイクル開発機構 大島博文殿
- ・『東海炉燃料の使用実績(Experience of Tokai Fuel)』
日本原子力発電 青田尚士殿

春の年会時(東海大学 平成17年3月29日13:00~17:30)

- (核燃料、材料、核融合工学部会合同企画セッション「J-K Joint Session on Fusion and Fission Engineering」)
- ・ Generation IV Nuclear Reactor Materials/Engineering R&D in Japan
 - ・ Present Material Research Activities on the Next Generation Nuclear Energy System in KAERI
 - ・ ジルカロイ被覆管の腐食と水素吸収
 - ・ 燃料高燃焼度化におけるペレット挙動
 - ・ New Alloy Development for High Burnup Fuel
 - ・ 圧力容器鋼の照射効果モデリング
 - ・ Probabilistic Structural Integrity Analysis of Reactor Pressure Vessel for Pressurized Thermal Shock
 - ・ Dosimetry Utilizing Luminescence Materials and Optical Fibers in Nuclear Systems

1.4 核燃料部会 予算及び収支

平成16年度の決算は収入が482,568円、支出が675,065円で収支差額が▲192,497円となった。平成16年度決算の支出が増えている理由としては、会報印刷費の決済が平成15年度中に完了できず、平成16年度に持ち越されたためである。平成17年度予算は、収入が配付金収入277,000円、夏期セミナー残金70,000円の計347,000円となっている。支出の見込みは431,000円であり、収支差額は▲84,000円の見込みである。

核燃料部会 平成17年度予算および平成16年度決算
(平成17年3月末現在)

		H17年度予算・実績予想			H16年度決算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績	備考
収入	配布金収入	277,000	277,000	学会連絡	277,000	277,000	学会連絡
	会費	-	-		-	-	
	寄付金・賛助金収入	-	-		-	-	
	セミナーテキスト売上	-	-		-	19,080	
	セミナー残金	70,000	70,000	H17年度夏期セミナー	70,000	186,488	H16年度夏期セミナー
	合計	347,000	347,000	予実差 0	347,000	482,568	予実差 135,568
		H17年度予算・実績予想			H16年度決算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績	備考
支出	会議費	-	-		-	-	
	通信費、発送費	74,000	74,000	会報発行回数は1回/年	82,000	94,240	会報発行回数は1回/年。H15年度分追加
	会報印刷費	180,000	180,000	会報発行回数は1回/年	153,000	405,825	会報発行回数は1回/年。H15年度分追加
	ニュース印刷費	-	-		-	-	
	雑印刷費	-	-		-	-	
	セミナー補助金	-	-		-	-	
	会員事務管理費	60,000	60,000	学会連絡	60,000	60,000	学会連絡
	講師謝礼、旅費	117,000	117,000	講師への謝金と旅費	-	100,000	春の大会 講師への謝金と旅費
	記念品作成費等	-	-		-	-	
	その他	-	-		-	15,000	秋の大会資料作成費
	予備費	-	-		-	-	
	合計	431,000	431,000	予実差 0	349,000	675,065	予実差 326,065
	支差額	▲84,000	▲84,000	予実差 0	▲2,000	▲192,497	予実差 ▲190,497
年度末繰越金	365,332	365,332	予実差 0	639,829	449,332	予実差 ▲190,497	

単位:円

1.6 23回総会以降の運営委員の交代

委員交代及び委員追加が紹介された。副部長にGNF-Jの山本委員が選出された。また、原燃工の運営委員が森委員から来山委員に交代した。

[次期副部長] 山本有紀氏(GNF-J)[第24回会員総会で承認取得後より]

[委員交代](原燃工) 森一麻氏→来山正昭氏(平成16年度第5回運営委員会後より)

1.7 運営委員の業務担当交代予定

来年度の担当幹事が紹介された。

担当	平成16年度担当者	平成17年度担当者
広報	[東北大] 塩川委員	[九州大] 杉崎委員
ホームページ	[JNC] 木原委員/庶務幹事	[JNC] 木原委員/庶務幹事
部会報	[ZP] 萩委員	[日本原電] 藤田委員
国際活動	森副部長、[電中研] 木下委員、 [JNES] 林委員	山本副部長、[電中研] 木下委員、 [JNES] 林委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)	[九大] 杉崎委員、[電中研] 木下委員	[京大] 森山委員、[NFD] 平井委員
庶務幹事(財務含む)	[北大] 佐藤委員、[東電] 大澤委員	[名大] 松井委員、[ZP] 萩委員
夏期セミナー幹事	[北大] 佐藤委員、[GNF-J] 伊東委員	[東北大] 塩川委員、[MHI] 安部田委員

2. 今後の活動計画

- ・会報：第41号(平成17年12月発行予定)
- ・第20回核燃料・夏期セミナー：平成17年7月7日(木)～9日(土) 鳥海温泉「遊楽里(ゆらり)」
- ・総会：平成17年9月13日(火)～15日(木) 秋の大会時(於、八戸工大)
- ・運営委員会：平成17年度第1回運営委員会 平成17年5月予定
平成17年度第2回運営委員会 夏期セミナー時
平成17年度第3回運営委員会 平成17年秋の大会時
- ・3部会合同、日韓夏の学校：平成17年8月1日(月)～3日(水) (於：韓国釜山市、東義大学)

3. その他

- ・大澤委員から今後の活動計画として、口頭にて以下について報告された。
- ・学会誌の連載講座を都合10回執筆した。今後は取りまとめについて検討していく。
- ・水炉国際会議はオール、ポスターを含めて、プログラムを調整しているところ。5月1日をメットとしてフルペーパーをお願いしている。
- ・部会の方への連絡方法で、64名に往復はがきでアンケートを取った。返信は36名あり、e-mail、FAX、郵送の優先順位で連絡することとする。部会報発行後、半年程度でFAX、郵送にて連絡をおこなう。部会員に連絡を行うときには、連絡方法に関する情報を提供する。
- ・H17年度の夏期セミナーは、鳥海温泉「遊楽里(ゆらり)」を予定している。H18年度夏期セミナーは、大阪大学と日本原燃が幹事となり準備を進めており、開催場所は後日連絡する。

山脇部会長から、閉会の挨拶及び以下をお願いされた。

- ・部会員の数は395名となり、増加している。会員の増加に協力をして欲しい。
- ・水炉燃料国際会議、夏の学校、部会の夏期セミナーなどが企画されており、ふるってご参加いただきたい。
- ・部会員への連絡方法について希望がある方は、部会運営委員の方に連絡をして欲しい。

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)

[もどる](#)